

稲 WCS の収益向上にむけて

東近江農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

竜王町の農業組合法人 J は転作として稲 WCS の栽培と収穫調製を行い、竜王町の肉牛・酪農家に供給しています。しかし、山沿いのほ場で収量が極端に低かったため、令和 5 年度の平均反収は目標である 9.0 ロール/10a よりも低い 6.1 ロール(2.135kg)/10a となり、この反収を改善することで収益を向上する必要がありました。

そのため、収量が低い山沿いのほ場の収量増加を中心に、稲 WCS の生産支援に取り組みました。



写真1 稲 WCS 栽植密度の確認

【普及活動の内容】

収量増加のためには初期成育の確保が必要であるため、栽植密度の増加や初期の水管理について繰り返し研修会を行いました。

また、山沿い地の管理を「平地並」から「中山間・山間地」と同等とし、当センターの調査をもとに水管理を含めた生育管理について指導することで実践へ繋がりました。



写真2 WCS 稲収穫

【普及活動の成果】

猛暑のため予想より生育量は低くなりましたが、令和 5 年度よりも 1.3 ロール/10a(全体で 151 ロール)増加しました。これにより売上が約 600 千円増える見込みです。

この結果をさらに向上させるべく今後も支援します。

表 1 農業組合法人 J の稲 WCS ロール生産

	生産ロール数(個)	反収(個/10a)
令和5年	724	6.1
令和6年	875	7.4

※ 約350kg/ロール

◎対象者の意見

次年度はさらに稲 WCS の反収を増やしていきたい。新しい取組についても引き続き支援をお願いしたい。(生産者 S 氏)